

資料5

下水道の他分野への貢献評価手法および
全体最適化に向けた検討について

下水道施設による脱炭素社会への貢献に関する評価手法の検討

○資源の有効活用を他分野への貢献として再評価

国内の下水道資源の活用事例の情報収集を行い、温室効果ガス削減効果を検討する。

温室効果ガス削減効果を地域社会を包含して検討し、社会における全体最適化の議論における判断材料に資する情報収集を行う。

・資源活用

下水道は資源の宝庫であり、下水道技術ビジョン「ロードマップ重点課題」に対応したバイオマスの利活用、エネルギー生産を推進する必要。

資源の有効活用は地域社会のGHG削減に貢献する可能性がある。

下水道資源

下水熱、再生水、消化ガス・固形燃料由来の熱・電力など






○下水道資源の活用によるGHG削減効果と他分野への貢献評価

下水道資源の活用によるGHG排出量の削減。

削減効果を下水道事業以外とも共有し、地域社会としてGHGを削減。

下水道施設によるGHG削減に関する貢献を評価する手法について検討し、脱炭素社会の実現に活用する。

脱炭素社会への貢献と全体最適化についての今後の展望

	令和4年度	令和5年度	令和6年度以降
下水道資源の有効活用に関する情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ・実際の施設における事例の情報収集 ・地域社会への資源の供給に関する情報収集 	 <ul style="list-style-type: none"> ・国内の先進事例 	 <ul style="list-style-type: none"> ・国内の一般事例 	
脱炭素社会への貢献の評価手法の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・国内の既存文献を中心に下水道資源の活用を行った場合のGHG削減効果を評価 	 <ul style="list-style-type: none"> ・評価手法の検討 		
関連技術に関する情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ・下水道資源の有効活用技術について国内未実用化のものも含めて調査 	 <ul style="list-style-type: none"> ・関連技術の調査 		
全体最適化に関する検討 <ul style="list-style-type: none"> ・下水道資源の有効活用と脱炭素社会への貢献評価を基に地域社会を含有した下水道の全体最適化を検討する 			 <ul style="list-style-type: none"> ・全体最適化の検討